

キングサーモンプロジェクト
(インパクト創出プログラム)
Agora 参加について

令和 8 年 6 月

東京都

スタートアップ戦略推進本部

(運営事業者：合同会社デロイトトーマツ)

目次

1. インパクト創出プログラムの概要.....	1
(1) 背景・目的.....	1
(2) プログラムのスキーム.....	1
(3) プログラム内容.....	2
2. Agora 実施概要.....	4
(1) Agora 実施体制.....	4
(2) Agora 実施内容.....	4
3. 社会課題テーマ・Agora 参加資格.....	5
(1) 社会課題テーマ.....	5
(2) Agora 参加資格.....	6
4. Agora への参加方法.....	7
(1) エントリーから Agora 参加までの流れ・スケジュール.....	7
(2) エントリー書類等の提出.....	8
(3) Agora 参加企業の選定.....	8
5. 留意事項.....	9
6. 問い合わせ.....	10

1. インパクト創出プログラムの概要

(1) 背景・目的

東京都（以下「都」という。）は、令和元年度から、医療や福祉などの都の現場を実証フィールドとしてスタートアップに提供し、都政課題の解決に向けた協働プロジェクトに取り組んできました。

さらに都は、昨年11月にバージョンアップしたスタートアップ戦略「Global Innovation Strategy 2.0 STARTUP & SCALEUP」において、グローバルで飛躍的に成長する企業を次々と生み出していく”グローバル”×“スケールアップ”を新たな取組の柱として位置付けました。

このたび、本戦略を踏まえ、キングサーモンプロジェクトにおいて、スタートアップのグローバルな活躍を更に推進していくため、より大きな社会的インパクトを生み出すプロジェクトへの挑戦を通じて、その飛躍的な成長を後押しする「インパクト創出プログラム」（以下「本プログラム」という。）を新たに創設しました。本プログラムでは、社会課題の解決に向けて、多様なプレイヤー（以下「コラボレーター」という。）との協働を通して、スタートアップによる国内外でのプロジェクトの実施やプロダクト開発・実装を支援することで、より大きな社会的インパクトを生み出すスタートアップ（キングサーモン企業）の輩出サイクルの確立を目指します。

(2) プログラムのスキーム

本プログラムは、都と協定を締結した合同会社デロイトトーマツ（以下「運営事業者」という。）が運営を行い、コラボレーターとの協働を通して、スタートアップによる国内外でのプロジェクトの実施やプロダクト開発・実装の伴走支援を行うとともに、各スタートアップに適した海外展開支援等を行います。



(※) コラボレーター

「コラボレーター」とは、スタートアップのサービス/プロダクトの成長にあたり、スタートアップの支援や協働にご参画いただける方々を指します。支援や協働のイメージは以下の通りです。

- ・ 実装フィールドの提供又は顧客候補（以下「実装フィールド提供者」、「顧客候補企業」という。）…国内外にフィールドを持つ事業会社 など
- ・ プロダクト開発環境の提供（以下「プロダクト開発環境提供企業」という。）…電機メーカー、ものづくりメーカー など
- ・ 開発・生産・販売等での協業（以下「事業パートナー」という。）…素材メーカー、製造受託企業、マーケティング販売企業 など
- ・ 海外展開、ディープテック等の知見の提供…VC、アクセラレーター、大学 など

(3) プログラム内容

本プログラムは、次のような流れで実施します。

【令和8年度】

- ① スタートアップと大企業や投資家等のコラボレーターが社会課題の解決に向けて議論し、プロジェクトを練り上げていくコミュニティ「Agora」（以下「Agora」という。）を形成します。
- ② Agora の形成に当たっては、本「Agora 参加について」に基づき、運営事業者が Agora へ参加するスタートアップ（以下「Agora 参加企業」という。）のエントリーを受け付けします。
- ③ 都及び運営事業者は、エントリー内容について、外部有識者等による審査を行い、Agora 参加企業を 10～20 社程度決定します。
- ④ Agora 参加企業は、Agora を通じて、ネットワーキングやディスカッション等を行い、

個別現場の困りごと解決に留まらない海外展開を目指すことができるプロジェクトを練り上げます。(プロジェクトの練り上げに際する具体的な実施内容は、2. (2)にて記載)

- ⑤ 運営事業者は、Agora 参加企業に対して、令和 9 年度以降の以下 3 つの支援コースへの参加スタートアップ（以下「コース採択事業者」という。）を公募します。なお、採択件数は目安です。
- (ア)国内実装コース（最大 3000 万円/ 4 件程度/支援期間：最長 12 カ月）
 - (イ)海外実装コース（最大 5000 万円/ 1 件程度/支援期間：最長 18 カ月）
 - (ウ)プロダクト開発コース（最大 3 億円/ 2 件程度/支援期間：最長 24 カ月）
- ⑥ 都及び運営事業者は、応募内容について、外部有識者等による審査を行い、採択します。採択後、都とコース採択事業者は、協定を締結します。

【令和 9 年度～令和 11 年度】

- ⑦ コース採択事業者は、応募時の計画に基づき、運営事業者やコラボレーターによる支援を活用しながら、国内外でのプロジェクトの実施やプロダクト開発・実装、グローバル展開等に取り組み、自ら設定したゴールの達成を目指します。
- なお、プロジェクトの進捗や外的要因による環境の変化等により、当初の計画を変更する必要がある場合は、都及び運営事業者と協議の上、計画の変更やそれに伴う KPI の見直しができる場合があります。ただし、原則として目標を単純に下方修正することは認められません。
- ⑧ 協定金は、コース採択事業者が応募時に設定した KPI の達成状況等に応じて支払います。

〈図：本プログラムの想定スケジュール〉



※プロジェクトの進捗状況等により、プロジェクトの公募・採択時期などのスケジュールは前後する可能性があります

※本コース採択事業者に対する KPI 評価は、原則として令和 9・令和 10・令和 11 年度末頃に実施します

2. Agora 実施概要

4 年間の事業のうち初年度となる令和 8 年度は、Agora 参加企業の決定及びプロジェクトの練り上げ、令和 9 年度のコース採択に向けた準備を行います。

(1) Agora 実施体制

Agora において、Agora 参加企業は、多様なコラボレーター（実装フィールド提供企業またはプロダクト開発環境提供企業等）と Agora 内において連携し、多様なコラボレーターによる支援を受けながらプロジェクトを練り上げます。

なお Agora への参加を検討しているスタートアップに対し、スタートアップとコラボレーターがお互いを知り、プロジェクト組成の可能性を模索するための機会として、マッチング商談会を開催します。商談会に参加するコラボレーターや申込方法は、本プログラムウェブページをご参照ください。

(2) Agora 実施内容

① プロジェクトの練り上げ：

Agora 参加企業は、以下のような流れで、課題の深掘りを経てプロジェクトの練り上げを行います（イメージであり、個別の進捗状況等に応じて変更します）。

（ア）課題特定：

サービス/プロダクトや事業パートナー（※）検討を見据え、課題の見直しや特定の精度を高めます。

（イ）ソリューション検討：

Agora 参加企業のサービス/プロダクト等のソリューションの提供価値、生産に向けた仕様検討、ビジネスモデルの検討を行い、ソリューション仮説をブラッシュアップします。

（ウ）事業パートナー検討：

実装・海外展開に向けて、開発・生産・販売等に必要な事業パートナーを検討します。

（エ）事業計画策定：

(ア) ～ (ウ) を踏まえて、事業計画を策定します。

※事業パートナーとは、実装・海外展開における開発・生産・販売等で協業する企業や機関のことを指します。

② 多様なコラボレーターとの議論

Agora 参加企業は、①の流れに応じて、以下のようなコラボレーターとの議論を行います。

- ・ メーカーや自治体など顧客候補となる企業との議論を通じた、ソリューションへのフィードバック受領
- ・ 事業パートナーとの開発・生産・販売等における連携の検討
- ・ 海外展開やディープテック等の専門家、監査法人や弁護士からの知見提供、ソリューションの磨き上げ

③ 勉強会・イベント

上記の他、勉強会・イベント等を実施します。現時点では以下のようなイメージですが、プロジェクトの内容や進捗状況に応じて具体化していきます。

- ・ Agora 参加企業に応じた市場ポテンシャル調査勉強会
- ・ Agora 参加企業の類似サービスに関する勉強会
- ・ 海外展開を目指す際のグローバル事業パートナーに係る検討会
- ・ 海外展開を行う際のビジネスモデルに係る海外 VC からのレビュー会 等

※Agora 参加企業のプログラムへの参加費は無料ですが、参加に係る移動・宿泊費等はご自身でご負担いただきます。

3. 社会課題テーマ・Agora 参加資格

(1) 社会課題テーマ

令和8年度は、以下①②のいずれかのテーマに関連する社会課題解決に関するプロジェクトを組成します。なお、以下のテーマの詳細として示すものはイメージであり、これに限られません。

① 気候変動・エネルギー対策

- ・ 暑熱対策・気候変動への適応（気象解析、グリーンインフラ等）

- ・ 再生可能エネルギー（風力・太陽光発電、余熱・地中熱の活用等）
- ・ 高効率なエネルギーマネジメント（蓄電池、マイクログリッドの普及等）

② しなやかで強靱な社会基盤の構築

- ・ 防災・防犯対策（犯罪予測、警備ロボット、災害モニタリング等）
- ・ インフラ維持管理（インフラモニタリング、インフラ建設における新素材活用等）
- ・ 食料安全保障（土壌微生物活用、生産効率の最大化、代替肉等）
- ・ 廃棄ロス・廃棄物処理（廃棄物管理の高度化、廃棄物のアップサイクル等）
- ・ 循環経済への移行（DPP、トレーサビリティ管理、廃熱回収、産業用水/排水処理装置の導入、シェア・レンタルの促進等）

(2)Agora 参加資格

Agora に参加するスタートアップは、次に掲げる全ての事項を満たす必要があります。

- ① 優れたテクノロジー・アイデアでイノベーションを創出し、本プログラムのテーマに適合した事業を行っていること
- ② 概ね創業10年を超えないこと
- ③ 東京において事業展開を行っていること、又は行おうとしていること
- ④ グローバル展開の実績又は強い意志があること
- ⑤ 会社更生法(平成14年法律第154号)第17条及び第30条の規定による更生手続き開始の申立てがなされている者でないこと
- ⑥ 民事再生法(平成11年法律第225号)第21条の規定による再生手続き開始の申立てがなされている者でないこと
- ⑦ 過去5年間に国・都道府県・区市町村等が実施する事業に関して、不正等の事故を起こしたことがないこと
- ⑧ 「東京都暴力団排除条例」に規定する暴力団関係者又は「風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律」第2条に規定する風俗関連業、ギャンブル業、賭博等、支援の対象として社会通念上適切でないと判断される業態を営むものでないこと
- ⑨ 連鎖販売取引、ネガティブ・オプション(送り付け商法)、催眠商法、靈感商法など公的支援先として適切でないと判断する業態を営むものでないこと
- ⑩ 公序良俗に反するなど支援事業として又は支援先として不適切と判断されるものでないこと

4. Agora への参加方法

Agora への参加を希望される場合は、以下に定めるところにより、エントリー書類等を提出いただきます。

(1) エントリーから Agora 参加までの流れ・スケジュール

令和8年度は、3回程度のエントリーの受付・審査を経て参加企業を決定します。

【各回のエントリーから Agora 参加までの流れ】

① エントリー

Agora への参加を希望するスタートアップは、本プログラムウェブページ上のエントリー書類を記載の上、提出する。

② 審査（随時）

運営事業者は、外部有識者等による審査を行い、Agora 参加企業を決定する。

③ 決定通知（随時）

運営事業者から、エントリーしたスタートアップへ結果を通知する。

④ Agora への参加（随時）

参加が決定したスタートアップに対し、その後の詳細をご案内する。

【スケジュール・期限】

	エントリー期間	決定通知	Agora への参加
第1回審査	6月30日～8月10日	8月中旬～8月末	8月末～
第2回審査 (予定)	8月中旬～9月末	10月初旬～10月中旬	10月中旬～
第3回審査 (予定)	10月初旬～11月初旬	11月中旬～11月末	12月初旬～

※審査を通過しなかった場合でも、次回以降にエントリーすることが可能です。

※エントリー受付から採択には最短で概ね1か月から1か月半かかります。

※本スケジュールは予告なく変更になる場合があります。最新のスケジュールや情報は本プログラムウェブページにてご確認ください。

※プロジェクト組成後の支援コース（資金サポート）へ応募するためには、本審査を経て、Agoraに参加している必要があります。

(2) エントリー書類等の提出

① エントリー書類

- ・ 宣誓書・エントリー書類（必須）
- ・ 会社概要資料（会社案内等）（必須）
- ・ 補足資料（任意）

※エントリー書類を補足する内容を示す資料の提出が可能です。メールにて送付ください。

② 提出期間

令和8年6月30日(火曜日)から開始

※提出されたエントリー書類から随時審査を行います。

エントリーは随時受け付けておりますが、審査は上述のとおり計3回の実施となります。

③ 提出方法

- ・ メールアドレス：kingsalmon-social_office@tohatsu.co.jp
 - ・ 件名：「キングサーモン（インパクト創出プログラム）エントリー書類提出」
- 運営事業者宛てにメールにて送付ください。

(3) Agora 参加企業の選定

① 審査方法

ご提出いただいた書類について、運営事業者にて、参加資格の有無やエントリー内容等を確認した後、外部有識者等による審査を行います。

※エントリー内容について、ヒアリングを実施させていただく場合がございます。

② 評価観点

Agora 参加企業の選定に当たっては、以下の評価観点に基づき総合的に評価を行います。この評価観点を踏まえ、エントリー書類を作成ください。

観点	詳細
企業ポテンシャル	・ 企業の体制や実績などが、グローバル展開のポテンシャルを有しているか（実績とは、資金調達や融資実績、海外展開実績、売上などを指します）

サービス/プロダクト ポテンシャル	<ul style="list-style-type: none"> ・【国内・海外実装コース】 現在有しているサービス/プロダクト・技術が、グローバルへの成長のポテンシャルを有しているか ・【プロダクト開発コース】 自社とコアとなる技術・製品が基礎開発フェーズとして完了しており、今後グローバルへの成長のポテンシャルを有しているか
体制	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自社のサービス/プロダクトの発展に適切な実装フィールド提供企業またはプロダクト開発環境提供企業）との連携関係の構築が見込まれるか ・ 本プログラムの体制・関与者は、本プログラムの目標を達成し得る実績やポテンシャルを有しているか
実現性	<ul style="list-style-type: none"> ・ スケールアップに向けたイメージが、妥当性の高いものになっているか ・ スケールアップに向けたイメージが、本プログラム期間において、実現可能なものになっているか

5. 留意事項

応募者は以下の点に留意の上、応募することとします。

- ・ プロジェクトの実施に当たっては関係法令等を遵守すること
- ・ プロジェクト実施中に使用したサービス/プロダクトによる事故や苦情が発生し、それがサービス/プロダクトの瑕疵によるものと見なされる場合には、Agora 参加企業が一切の責任を負うものとし、発生した損害（第三者に及ぼした損害を含む）については、Agora 参加企業がその費用を負担すること。損害は、利用者等の怪我や実施フィールドの設備等を損傷するなどの有形のものに限らず、プロジェクトに伴い設置する機器等が原因となる通信障害や、機器等の誤作動によるものも含む。
- ・ 利用者、関係者その他の実施環境に応じて、プロジェクトに使用した機器等が意図せず損壊される可能性があるが、その場合であっても、当該損壊に関する賠償はなされないこと。
- ・ プロジェクト結果を検証するにあたり、事後調査（アンケートやインタビュー）に協力すること。また、プロジェクトで得られた情報や個人情報を除いたデータ等を必要に応じて提供すること。なお、プロジェクト結果やデータ等は、東京都の許可なく第三者へ

の開示、第三者機関への提供、転載、掲載はしないこと。

- 本プログラムを広く PR するため、プロジェクト期間中の映像撮影や、当該映像等の公表、事業ロゴ・SNS の活用を通じた本プログラムの取組に係る情報発信に協力すること。

6. 問い合わせ

本プログラム、エントリー書類等に関して質問がある場合、本プログラムウェブページ (<https://kingsalmon.metro.tokyo.lg.jp/social-impact/>) の問い合わせフォームからご連絡ください。なお、個別評価の詳細につきましては、ご回答いたしかねる旨ご了承ください。

また、本プログラムの詳細等に関して、実装フィールド提供企業やプロダクト開発環境提供企業（リバースピッチ登壇先）への直接の問い合わせは固くお断りします。

<問い合わせ先>

問い合わせ先：運営事業者（合同会社デロイトトーマツ）

問い合わせフォーム：<https://forms.office.com/e/wRTXbCAeRT>

問い合わせ内容を検討・確認の上、原則、本プログラムウェブページ

(<https://kingsalmon.metro.tokyo.lg.jp/social-impact/>) にて回答を随時掲載します。

以上